

市長・市議会議員から 新年のごあいさつ



竹原市長
今 榮 敏彦

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、多方面において甚大な影響が生じた一年となりました。本市におきまして、昨年十二月に初めての感染者が確認されるなど、切迫した状況が続いております。

そのような状況を受け、国・県・関係機関と連携しながら、感染拡大の防止と経済活動の両立を推進するとともに、「新たな生活様式」に対応しながら、市民の皆様の利便性の向上や行政サービスの効率化を図るため、行政サービスのデジタル化・オンライン化に取り組んでまいりました。

他方、本市や本市出身の個人・団体の方々が、スポーツ分野の全国大会において輝かしい成績を収められたほか、叙勲の受章や国からの表彰をお受けになるなど、暗い世相を照らす明るいニュースもございました。

また、平成30年7月豪雨災害からの復旧につきましては、「竹原市復旧・復興プラン」の計画期間を1年間延長し、令和3年度中の完了に向けて全力で取り組んでいるところでございます。今後とも、市民や事業者の皆様が、一日も早く元の生活を取り戻せるよう、全力で取り組んでまいりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が市民の皆様にとりまして輝かしい年となるよう祈念申し上げます。



竹原市議会議員
大 川 弘雄

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大し、本市においても多くの方が、日常生活に大きな影響を受けました。一日も早く終息し、普段の生活に戻ることができますよう、心より願っております。

また、この度のコロナ禍を機に新しい生活様式への移行、これからのまちづくりにおいては、今までの常識にとらわれない新しい発想で、世の中の変化や市民の皆様へのニーズに柔軟に対応していく必要性も再認識した一年でありました。

さて本市議会では昨年からは、議員がたけはらケーブルネットワークの番組に出演し、定例会の内容について説明するなど、更なる「議会の見える化」に注力しております。市民の皆様には、ぜひご覧になっていただきたいと思います。

市政・議会により関心を持っていたいただき、ともによりよい竹原市をつくっていくよう、本市議会も全力を尽くしてまいりますので、本年も竹原市議会に対し、昨年にも増して、温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様方のご健勝とご多幸を議員一同心より祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。